

# 鐘華会九州支部だより

九州支部だより 第25号

発行 2013年11月15日

発行人 中村 晃

## 私の散歩道

市 木 丞



復元された「元寇防塁」

青々と生い茂っている松林と波静かな今津湾に浮かぶ能古島。

その彼方には福岡西方沖地震で壊滅的な被害を受けた玄界島。さらにはその島間からは遠くに志摩半島を眺め見る事が出来る。

この風光明媚な「生の松原海岸」が私の散歩道なのです。

今津湾その先は波高き玄界灘。大型船の往来が賑やかです。さらに「生の松原海岸」は日本の「白砂青松」100選にも名を連ねている名所で玄海国定公園の一部であり九州大学農学部早良演習林なのです。

「波」静かな今津湾では春先から北風の季節まで色々な事を楽しむ事が出来ます。堤防「防波堤」からは太公望が大物の釣果を期待して釣り糸を垂らしている光景が見られ「白キス・アジ・さわら・すずき」等の色々な魚種が楽しめます。

初夏から夏の盛りには松林の中に「浜木綿」や「浜昼顔」が咲き誇り海水浴客や散歩者の目を楽しませてくれます。

冬には冷たい玄界灘からの「北風」を受けこの松林と海岸を早朝から老若男女が様々な思いと出で立ちで散歩やジョキングを楽しんでいる。

生の松原海岸には歴史とロマンを感じる事が出来ます。この長い海岸線には北条時宗の時代蒙古軍「元軍」の襲来に備えて九州各地の御家人に築堤させた「元寇防塁」の遺跡が至る所に埋もれ見え隠れしています。

また、この「元寇防塁」は博多湾岸に約20kmにも及ぶ長大な遺跡です。

生の松原海岸の「元寇防塁」は1968年に発掘調査し、その遺跡の一部が長さ50m・高さ2.5mに復元されています。時おり歴史ファンが訪ねて来る以外は静かな「生の松原海岸」です。

この静かな湾内には休日ともなれば小戸公園のヨットハーバーから出廷した無数のヨットが白帆を立て浮遊する情景は絶景です。



## 伊勢神宮・遷宮祭のお白石持ち行事に参加して 上野 興志隆

伊勢神宮の式年遷宮とは 20 年毎に新しい神殿を造り、アマテラス大御神に新宮にお遷りいただくお祭りで、天武天皇によって定められ、持統天皇の時(690年)第1回目が実施されて千三百年余りにわたって継承されてきて今回で 62 回目となる。

今年の遷宮祭は 10 月 2 日内宮で、5 日には外宮で執り行われるが、このお社の建て替えという大行事の準備には 8 年の歳月をかけ、時の技術の粋を集め、約 500 億円位の資金を掛けて行われるとのことだ。

御杣山(長野県上松町)の樹齢 300 年以上の檜を伐採、運び出してお社の材料とする。この木曾檜で出来た御正殿の周りに伊勢の宮川上流でとれたお浄めの白い石を敷く行事が特別神領民によって行われる。

これはもともと伊勢の神領民の仕事だったが、前々回の遷宮の時より、一日特別神領民として全国から選ばれた人達がお手伝いをさせてもらえるようになった。

福岡県も資金集めに貢献したということで、8 月 2 日の行事に参加する機会を与えて頂き、神社庁八幡支部も 120 人程の参加となった。1 班 60 名は 1 日、小倉より新幹線で出発、新大阪よりバスで伊勢神宮へと向かい、午後 4 時頃はまだ暑い最中、まず二見浦の浜参宮(二見興玉神社)で受付、禊参拝をして、その日は参道の「おかげ横丁」を下見しただけで、鳥羽のホテルに宿泊。

翌 2 日は朝 6 時にはすでに白法被、白股引の装束でホテルを出発、バスで 30 分の会場に集合、既に大勢の人達が集まっていた。



お白石持ち

白石の入った桶の乗った山車を 200m 以上もある長さの二本のロープを外・内両側から 4 列約千人で 1 km 弱を奉曳する(1 日に 10 回の奉曳)。

私たちは一番曳車だから朝 8 時のスタート。朝からかんかん照りの暑い日だったが、対面の千葉から来た人たちと声を掛け合いながらの内宮の宇治橋までの楽しい奉曳でありました。



お白石奉曳

その後宇治橋を渡り手水、お祓いを受けて、白色布に白石を受け取り、内宮の御正殿入口まで来ると、右手に古めかしい現在の御正殿の屋根が板垣越しに見え、遠くから遥拝して、新しい外玉垣御門を通り内玉垣御門へと進む。そしていよいよ瑞垣御門をくぐると、そこは御正殿。真っ白な檜の素木の神明造の御正殿が鮮やかで威厳のある佇まいをしている。

参列者の誰も声が出ない。シーンと静まった音のしない列で、唯お白石を置いて行く。やたら監視人の注意の声だけが耳に入る。そのまま無言で、厳かに御正殿の左わきを通って北門より退出する。

玉垣の外に出るとほっとし、宇治橋より内宮の外に出て、やっと一人の観光客に戻ったという感じであった。

その日は伊勢の街はお白石持ち行事参加者でごった返し状態。私達はすぐバスに乗り込み、伊勢の町はずれの休憩所でお風呂、着替えて昼食後、檀原へと向かった。その日は桜井の駅前のホテルで宿泊。

3 日目。この日も朝から日差しが強い。神武天皇を祀る檀原神宮を正式参拝。続いて大化の改新発祥の地で、乙巳の変に係る中大兄皇子、中臣鎌足等が蘇我入鹿殺害を計画したところと言われる多武峰の談山神社の正式参拝を行った。帰り道は麓にある、蘇我馬子の墓と言われる石舞台古墳を通り、三輪山の麓、箸墓古墳を含む纏向古墳群を通って、奈良経由で新大阪へ。新幹線小倉駅で、みんな無事での解団式を行い、法被エンドとなりました。

二泊三日の伊勢、飛鳥の旅でありましたが、心身が清められた旅でした。

おかげさまで帰幡して、遅まきながら、柄にもなく、早速日本古代史の本を買ってむさぼり読むようになりました。



神宮御垣内入口

## 近況報告（例会の返信）

- ・上野 賢二 業務多忙につき欠席。長女が3月、次女が10月に結婚し、各々鎌倉、東京に住む事になりました。昼間は会社の業務で忙しいですが、夜は寂しさを感じる事があります。
- ・王寺 常雄 一応元気にやっておりますが、年と共に少しずつ不具合が出てきます。申し訳ありませんが、今回欠席させていただきます。
- ・江崎 昭三 九州支部の皆さん、お元気ですか。小生はお蔭様でどうにか元気です。
- ・池田 広治 諸事多忙につき参加できません。近場か交通の便の良いところを期待します。
- ・青木 得志 2クール目、4回の抗がん剤治療のため、欠席します。（中皮腫の為、今春より九大病院にて抗がん剤治療中）
- ・武田 敏光 元気にやっております。休日は、テニス、ゴルフ、家庭菜園と忙しく過ごしております。相変わらずの毎日です。
- ・永井 辰夫 4月30日で、13年間勤めたヤンマー農機を定年退職。約半年かけてガス抜きを行い、10月21日より養護老人施設で働くことになりました。未知の世界ですが、チャレンジしましょう！！盛會を祈ります。
- ・高木 健 支部例会の参加を楽しみにしていましたが、所用があり、今回は失礼いたします。九州カネライト太陽光発電施設も12月中旬完成を目指して工事中です。お近くに来られましたら是非お立寄りください。
- ・坂元 均 今回は色々用事が重なり欠席させていただきます。
- ・坂本 正志 出席の予定にしておりましたが、用事が出来参加できません。
- ・真部 邦則 母が9月に亡くなりました。急性硬膜下血腫で、86才でした。年末までゴルフ等は無しにして過ごそうと思っています。
- ・川上 義人 4月2日に母親が満92才で死亡してから、一人息子ですので、49日喪に服し、初盆、彼岸と結構忙しい毎日でした。この度は九工大軟庭部OB会が熊本で開催されることになり、副幹事を仰せつかっておりまして、申し訳ありません。次回以降よろしくお願ひします。
- ・園 博 早いもので、定年後4年目の契約更新の時期となりました。2年前、初孫が出来て、体力をと思ひ【筋肉爺さん】を目指してトレーニングを始めるも、不節制・食事バランスが影響してか高血圧で悩み、引き続き坐骨神経痛と散々な日々を過ごしています。<運動不足・酒・タバコは相変わらず。——反省>
- ・広政 誠 早朝ウオーキングがいつまで続くか？（10月1日現在2,800日）
- ・石原 晋一郎 80才を過ぎて、少々体調を崩すケースが多くなりました。でも、まあまあ動いて居ります。写真・陶芸は相変わらず続けていますが、そろそろ引退する時期でしょうか。例会楽しみにしています。
- ・橋本 滋 毎日が日曜日。平々凡々の日々を何事もなく過ごしています。これが幸せかも。
- ・薬師寺 是文 今年5月に10年間独りで暮らしたふるりの津久見市から和泉市へ帰ってきました。SCの津久見の家は空き家にしたままです。友人、知人が多くいますので、時々遊びに行っています。
- ・上野 興志隆 このクソ暑い時に帯状疱疹に罹り散々な夏でした。此の頃、薬の種類が増え、アルコールで薄めようとしています。そろそろ、またゴルフを始めます。
- ・檜崎 賢治 家を解体し建替えの為、仮住まいしており、コンクリート造りのアパートで湿度の悩まされております。前の隙間の多い木造の家が良いです。
- ・市木 丞 日々、元気に過ごしております。週1回グランドゴルフに汗を流し、健康維持に努めています。
- ・中村 晃 2ヶ月程前に、週1回食事時に「ノンアルコールビール」で済ませる事を思いつき、今のところ何とか達成しております。お勧めです。
- ・池野 治彦 体調が今一のため、欠席。
- ・成相 定雄 今回も失礼します。
- ・山中 俊一 今回参加もできません。





## 【平成25年度支部活動報告】

年	月	日	活 動 内 容
25	01	25	( 鐘華会役員会 )
	02	01	( 鐘華 68 号 )
	02	20	支部幹事会 (黒崎にて)
	04	16	職場訪問 (九州カネ食)・懇親会 (12名)
	04	17	第9回山九会 GC (志摩シーサイド CC) (6名)
	05	15	支部だより 24号発行
	08	01	( 鐘華会役員会 )
	08	01	( 鐘華 69 号 )
	08	26	支部幹事会 ( 博多にて )
	11	05	第14回支部例会 ( 臼杵 )
	11	06	第10回山九会 GC ( 臼杵 CC ) (4名)
	11	15	支部だより 25号発行

(特記事項)

\*職場訪問・第9回山九会 GCについては、鐘華 69号に記載。

\*第14回支部例会・第10回山九会 GCについては鐘華 70号 ( 26年2月発行予定 ) に掲載予定。

\*会員の異動

## 【 死亡 】

後藤 祐吉さん ( 平成25年2月20日逝去、83歳 )

## 【 新会員 】

坂本 正志さん ( 平成24年11月 )

## 【 25年度支部活動費半期実績 】

項 目	24 実績	25 予算	半期実績
支部だより通信費等	11,542	11,000	7,053
例会通信費	5,310	6,000	0
例会写真代など	3,916	4,000	0
職場訪問通信費	4,528	5,000	3,394
幹事会通信費補助	4,000	4,000	0
その他	480	0	0
合計	29,776	30,000	10,447

(特記事項)

特になし

## 【 定例役員会報告 】

◇平成25年8月1日、カネカクラブにて定例役員会が開催された。

◇主な内容は下記の通りです。

## ① 山崎会長挨拶

・鐘華会も発足して35年を経過し、立派なOB会組織となり、各支部単位での活動も活発に行われている。他社と比較してみると組織化され会費を徴収して運営しているところは少ない。これも日頃の役員の方々の活動の成果と感じている。役員交代の機に、更により良いOB会にしていきたい。

・今年の例会は鹿島支部、東京支部が終了したが、従来になく盛況に行われた。

・前期の実績をみると財政面でも問題はないので、後期も活発な活動を期待する。

・5月の定年退職者の鐘華会への入会率が80%と例年(90~95%)になく低かった。これも環境の変化と言わざるを得ない。

## ② 各支部活動報告と今後の計画 (特記事項のみ) (高砂)

・10月26日(土)支部例会 (大阪)

・8月3日(土)支部例会。  
支部長交代 ( 後任:向井俊二氏 ) (滋賀)

・11月23日(土)支部例会。  
(鹿島)

・総勢44名の世帯になり、支部活動と情報発信を充実させていく。

(本社)

・10月11日(金)支部例会。  
(東京)

・6月14日(金)支部例会。  
支部長交代 ( 後任:鈴木俊弘氏 )

## ③ その他

・第8回鐘華会総会を来年10月23日(木)に開催予定。

## あとかき

- ・「私の散歩道」に出てくる元寇防塁について、「支部だより22号」に青木得志さんが詳しく書いてくれています。
- ・「お白石持ち行事」を初めて知りました。「御木曳行事」と並んで、式年遷宮の大衆参加の2大行事だそうです。式年遷宮は、およそ千三百年続いているそうで、改めて我が国の凄さを感じます。「日本人に生まれて本当によかった」(高倉健さん・文化勲章受章時)と、私も思いますが、齢のせいでしょうか。
- ・今年の支部例会は臼杵で開催しました。国宝の臼杵石仏を見学し、本場のふぐ料理を堪能して、楽しい例会となりましたが、会長を含め10名と参加者が少なく、今後の課題です(昨年の天草は18名)。皆様のご意見を支部幹事(中村、市木、上野(興)、廣政)にお聞かせください。来年の開催地で頭を悩ませています。
- ・例会で、会長からカネカの現状をお聞きし、最近新しい製品が出てきていないことが気になりました。世間では短期業績を重視し、長期間を要する研究開発を軽視する風潮があるようですが、カネカは「技術のカネカ」と言われた伝統を守り、じっくり腰を据えて、新製品開発に頑張してほしいものです。頑張れ！カネカ！